

情報化施工研修会のご案内 (2008/9/24)

～ ICT建設機械の現地研修 ～

社団法人 日本建設機械化協会

ICTを活用した新しい施工技術である情報化施工は、施工品質の向上や熟練度に左右されない高い精度の施工などを実現する方法として、更なる普及が期待されています。本年7月、情報化施工の普及方策として、国土交通省が設置した『情報化施工推進会議』は、「情報化施工推進戦略」を提言しましたが、その中で、「人材育成」が非常に重要であることを指摘しています。

(社)日本建設機械化協会は、3次元データを利用した建設機械制御に関する実践的な教育により、情報化施工に対応できる技術者を育成することを目的として、本年7月より「情報化施工研修会」を開催しております。このたび、今年度内の研修会を下記日程で実施することといたしましたので、研修生の募集についてご案内申し上げます。

記

1. 開催日：平成20年11月13日(木)～14日(金)
及び 平成21年 2月12日(木)～13日(金)

(次年度についても現時点では 5月21・22日、7月16・17日、9月10・11日の開催を予定しています。開催日の追加・変更については当協会HP等に掲載していく予定です。)

2. 場 所：(社)日本建設機械化協会 施工技術総合研究所 (静岡県富士市大淵3154)
『情報化施工・安全教育研修センター』

3. 主 催：社団法人 日本建設機械化協会 (<http://www.jcmanet.or.jp>)

4. 対 象：建設現場管理者、建設機械オペレーター、その他マシンコントロールの体験あるいは習得を希望する方。(現地研修は道路路盤工を対象として実施)

5. 研修会のコース (ダウンロード：情報化施工研修会の概要)

コース名	研 修 目 標	受 講 資 格	受 講 費 用
体験コース (開催期間 の初日1日) 定員：20名	○マシンコントロール(MC)を用いた 施工の概要 (システム構成、運用)を把握する ○マシンコントロール(MC)用データを使用した 実機施工を試乗体験 する	①特になし。 (「車両系建設機械(整地・運搬・積み込み用及び掘削用)運転技能講習」修了者であれば、施工機械の運転体験が可能)	25,000円/人
実務コース (2日間) 定員：20名	○設計図面を読み MC用データ作成 をマスターする ○測量データを利用し データ作成、出来形管理の基本 を習得する ○ 実機を用いた実習 によりMC施工の基本を習得する	①「車両系建設機械(整地・運搬・積み込み用及び掘削用)運転技能講習」の修了者 ②パソコン(エクセルなど)操作経験がある者	130,000円/人 ○ 研修用パソコン を利用出来ます(一人一台) ○ 「研修修了証」 を発行します

- ・現時点で日程が決まっている研修会では、トプコン社製のMCシステムを使用する予定です。
- ・受講費用には、建機・機材のレンタル費、パソコンの利用、傷害保険、テキストなどの費用が含まれています。宿泊費、食事代は含みません。
- ・主要箇所へのバス送迎を予定しております。
- ・ヘルメット、安全チョッキは当方で準備致します。なお、実習の際は安全靴の着用をお願いします。

